

2021年度 甲賀地域なし栽培研究会栽培暦

令和3年2月末時点

月	旬	生育状態	管理作業	内 容	10aあたり			
					樹 齢		基肥(エコレット048)	
					3年目	収穫初年目	施肥量	窒素量
1		休眠期	凍害防止対策	・ホワイトンパウダー塗布				
3	上・中	発芽前	基肥施用	・右図を参考。	90kg	9kg		
			《ニセナシサビダニ、カイガラムシ類、ハダニ類》	・ラビサンスプレー(50倍、発芽前)	110kg	11kg		
	中・下	発芽期	【黒星病重点防除】 《黒星病》	・アントラコール顆粒水和剤(500倍、45日、予11日)、展着剤加用	150kg	15kg		
4	上	発芽期 出蕾期	【黒星病重点防除】 《黒星病、黒斑病、赤星病、輪紋病》 《アブラムシ類、シンクイムシ類、ハマキムシ類》	・ジマンダイセン水和剤(500倍、30日、予10日) ・サイアノックス水和剤(1,000倍、45日前)				
			摘蕾・摘花	・蕾が伸び始めたら、中心部の3花程度を指で押して花梗を折る。 ・主枝先端、側枝や予備枝にしたい芽、側枝の先端2芽、上向き下向きの芽は全摘蕾する。				
	中	開花始期	【黒星病重点防除】 《黒星病、黒斑病、心腐れ症、炭そ病》	・ファンタジスタ顆粒水和剤(3,000倍、前日、予10日)				
			《シンクイムシ類、ハマキムシ類》	・コンフューザーN(100本/10a)				
	下	満開期	受粉	・満開期の前後(5割開花と8割開花)に親和性の良い花同士で受粉する。 ・花そうの基部から3~5番目の花に受粉する。				
満開直後			【黒星病重点防除】 《黒星病、黒斑病、赤星病、心腐れ症、炭そ病、輪紋病、うどんこ病》	・アンビルフロアブル(2,000倍、7日、治4日・予18日、果実は7日) ・チオノックフロアブル(500倍、30日、予7日)				
5	上	細胞 分裂期	【ニセナシサビダニ重点防除】 《黒星病、輪紋病、心腐れ症、うどんこ病》 《ニセナシサビダニ、ハダニ、アブラムシ、カイガラムシ》	・トップジンM水和剤(1,500倍、前日、予10日) ・モベントフロアブル(2,000倍、14日)				
			芽かき	・上向きに強く伸びそうな芽は、手で取れるうちにかきとる。 ・主枝の上面から発生する芽は、早めにかきとる。				
			本摘果【満開30日頃】	・形が良く大きい果実を、側枝1mあたりほぼ決められた果数にする。				
	中	新梢 伸長期	《黒星病、黒斑病、輪紋病》 《チャノキイロアザミウマ、ニセナシサビダニ、ハダニ》	・キノドーフロアブル(1,000倍、3日、予7日) ・コテツフロアブル(2,000倍、前日)				
			摘心	・果そうから発生した新梢は、5月下旬から6月中旬に基から切除する。ただし、果そう葉は残り十分光を当てる。 ・摘心後に再伸長した場合も、再度切除する。				
6	上	細胞 肥大期	《黒星病、赤星病、輪紋病、炭疽病》 《シンクイムシ、アブラムシ、カイガラムシ》	・オーソサイド水和剤80(800倍、3日、予9日) ・バリアード顆粒水和剤(4,000倍、前日)				
			仕上げ摘果【満開60日頃まで】	・形が良く大きい果実を側枝1mあたり決められた果数にする。				
	中	細胞 肥大期	《黒星病、黒斑病》 《シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ》	・ユニックス顆粒水和剤47(2,000倍、21日、治4日・予10日) ・ダースバンドライフロアブル(3,000倍、30日)				
			側枝誘引	・新たに伸びた新梢は、6月下旬から斜め45°に誘引し花芽形成を促進し側枝の更新に備える。				
7	上	花芽 分化期	【黒星病重点防除】 《黒星病、黒斑病、輪紋病、うどんこ病》 《シンクイムシ、アブラムシ、カイガラムシ》	・ベルコートフロアブル(1,500倍、14日、予12日) ・スフラサイド水和剤(1,500倍、21日) または オリオン水和剤40(1,000倍、3日前)				
			《シンクイムシ類、ハマキムシ類》	・コンフューザーN(100本/10a)				
			【梅雨明け直後】 《黒星病、うどんこ病》 《ハダニ類、ニセナシサビダニ》	・フルーツセイバー(2,000倍、前日、予10日) ・コロマイト乳剤(1,000倍、前日)				
8	中	細胞 肥大期	主枝の日焼け防止	・ホワイトンパウダー塗布				
			《シンクイムシ類、ケムシ類、ハマキムシ類》	・サムコルフロアブル10(5,000倍、前日)				
9	上	養分蓄積期	《ハダニ類、ニセナシサビダニ》	・カネマイトフロアブル(1,000倍、前日)				
			《シンクイムシ類、ナシホソガ》	・ノーマルト乳剤(2,000倍、前日)				
10	中	養分蓄積期	《カメムシ》多発時	・アティオン乳剤(2,000倍、前日)				
			《シンクイムシ》多発時、晩生品種	・サムコルフロアブル10(5,000倍、前日)				
			礼肥施肥	・右図を参照				
11	上	養分蓄積期	【黒星病重点防除】 《黒星病》	・ICボルドー48Q(30倍、展着剤加用):収穫が終了した品種 ・オーソサイド水和剤80(800倍、3日):収穫中の品種				
			【黒星病重点防除】《黒星病》	・ICボルドー48Q(30倍、展着剤加用):晩生品種の収穫終了後ただちに散布				
12	下	休眠期	【黒星病重点防除】落葉処理	・落葉は、集めて園外に持ち出し処分する。				
			【黒星病重点防除】せん定	・せん定枝は、集めて園外に持ち出し処分する。				
12			土づくり	・10aあたり、苦土石灰を100kg、完熟堆肥を2,000kg施用する。				

※農薬使用の際には、ラベルに従って下さい。

※薬剤抵抗性害虫の発生を避けるため、同じ薬剤を続けて散布しないようにしましょう。